

# 伊丹市新庁舎整備工事基本設計委託業務プロポーザル審査結果報告

伊丹市新庁舎整備工事基本設計  
委託業務プロポーザル審査会

平成30年4月25日に開催した伊丹市新庁舎整備工事基本設計委託業務プロポーザル審査会において、下記のとおり受託候補者を選定しましたので、報告します。

## 記

### 1. 経緯

2022年度（平成34年度）からの供用開始を目指している新庁舎整備事業について、平成29年度（2017年度）に策定した「伊丹市新庁舎整備基本計画」を踏まえた基本設計を行うため、高い技術力及び豊富な経験等を有する設計者を公募型プロポーザルにより選定した。

内容	実施期間
公示	平成30年（2018年）3月9日（金）
質問回答	平成30年（2018年）3月20日（火）
参加表明書等受付	平成30年（2018年）3月27日（火）
書類審査結果通知	平成30年（2018年）4月3日（火）
企画提案書等受付	平成30年（2018年）4月19日（木）
ヒアリング審査	平成30年（2018年）4月25日（水）

### 2. 審査委員

委員長	田中 栄治	学識経験者 神戸山手大学総合社会学科教授
副委員長	若本 和仁	学識経験者 大阪大学工学研究科准教授
委員	行澤 睦雄	伊丹市副市長
委員	梶村 一弘	伊丹市総合政策部長
委員	堀口 明伸	伊丹市総務部長
委員	天野 純之介	伊丹市財政基盤部長

事務局：安全・安心施策推進班

### 3. 審査結果

#### (1) 一次審査

受託企業の実力として、技術職員の状況や同種・同類の業務実績、また配置予定技術者の能力として、保有する資格、同種・同類の業務実績、繁忙度について、厳正に評価し、参加要件を満たしていることを確認した。

審査の結果、参加表明のあった4者の全てをプレゼンテーション及びヒアリング審査（二次審査）の対象者として選定した。

プレゼンテーション及びヒアリング審査対象者
株式会社隈研吾建築都市設計事務所
株式会社東畑建築事務所
株式会社昭和設計
株式会社前川建築設計事務所

#### (2) 二次審査

事前に定めた評価基準に基づき、4つのテーマに対する技術提案書及び業務実施方針の提案をもとに、プレゼンテーション及びヒアリング審査を実施し、受託候補者を選定した。

順位	参加事業者名	得点
受託候補者	株式会社隈研吾建築都市設計事務所	75.39点／100点
次点者	株式会社東畑建築事務所	61.86点／100点
第3位	株式会社昭和設計	60.39点／100点
第4位	株式会社前川建築事務所	50.50点／100点

### 4. 審査講評

各社の企画提案内容は、計画敷地の制約や完成年度までの事業スケジュールの制約、また基本設計先行型デザインビルド方式のうちの当該基本設計業務の履行期間についても短期間であることに対して、これまでに培ってきた経験や技術力を発揮し、それぞれに本プロポーザルに真摯に取り組む姿勢が十分に感じられる提案であった。

受託候補者については、伊丹市の地域特性を十分に調査し、基本計画の内容を的確に解釈したうえで、それぞれの課題に対し実現性の高い提案となっている。

**【市のシンボルとして、市民に親しまれる庁舎について】**

新庁舎の配置計画及び外観イメージは、伊丹緑道とのつながり等の都市的な視点で地域特性を活かすことに加え、景観行政団体である伊丹市の景観計画にも十分に配慮された酒蔵のしっくい壁を連想させる白を基調としたデザインとなっている。また、まちかどの既存樹木の保存に関する提案など環境等にも配慮した点が評価された。

**【安全・安心な庁舎について】**

平常時・災害時の広場利用について具体的な提案があり、計画敷地の特性を最大限に活かした内容となっている。災害発生時のスムーズな機能転換、浸水対策や災害時の役割など安全・安心な庁舎における具体的な提案に加え、免震・耐震の組み合わせによるコスト削減、工期短縮の提案が評価された。

**【環境に配慮された庁舎について】**

環境ルーフや県内木材および敷地内の伐採樹木の積極的な利用などパッシブな環境配慮の提案が評価された一方、建設コストの増嵩には留意が必要である。

**【効率的・機能的で快適な庁舎について】**

新庁舎のフロア構成が分かりやすく、来庁者が全体を大きく見渡せる配置とされており、窓口の集約化（総合窓口）も視野に、広場も含めて利用者の快適性を高めることや協働を誘発する空間の使い方などきめ細やかに配慮されている。また、市民に開かれた議会として、広場に面して低層棟に議場を配置するなど、独創的な提案も評価された。

**【総評】**

市民協働による開かれた設計プロセスの提案など、永く市民に愛される市庁舎の誕生を期待させる内容であり、審査委員からの質疑に対する高い応答力や豊富な知見と組織体制など、基本設計を完成させるパートナーとしてふさわしい高い評価となった。

以上